



玉陵 community(コミュニティ)

校訓  
~つよく かしこく  
なかよく あかるく~



## 全力で！本気で！ やりとげた運動会



5月26日は、晴天に恵まれ、絶好の運動会日和でした。玉名市の神田教育委員様はじめ、市議会議員様等多数の来賓

の皆様の応援のもと、赤団団長山下倭白さん、白団団長馬原葵惟さんを中心に326人が輝く最高の運動会をつくりあげてくれました。「練習から本気で」と取り組み、当日も全力で力を発揮しました。

また、毎年、中学校の図書室担当の有働先生が、玄関前のポスターと掲示用スローガンを作成し



てくださいます。中学校の先生はじめ、保護者の皆様、地域の皆様の応援により、児童の力も発揮できたものと思います。ご協力、ご支援ありがとうございました。

## 小中合同「引き渡し訓練」 お世話になりました。

6月3日(月) 14時30分から時間差での引き渡し訓練を実施しました。緊急時

を想定し、326名の児童を保護者の皆様のもとに安全にお渡しするための訓練でした。校区としては、川もあり、浸水等も考えられます。今後、消防団との連絡や協力等も必要ではないかと思っています。最悪を想定しながら、訓練の在り方を検討していきたいと思っています。



## 第1回玉陵小・中学校運営協議会 ～共に学校を創る～

6月13日(木) 14:00から第1回玉陵小・中学校運営協議会を開きました。学校運営協議会制度(コミュニティスクール)は、学校と地域住民等が力を合わせ、学校運営に取り組み、地域と一体になった学校を創っていこうとするものです。

13日は、授業参観後、運営方針の検討、児童生徒の発表等を行いました。

### 玉陵小中学校・学校運営協議会委員

会長	松川 哲秀 様	(小 田)
委員長	藤井 一也 様	(三ツ川)
委員長	荒木 あけみ様	(玉 名)
委員長	安原 勇 様	(石 貫)
委員長	早上 正臣 様	(梅 林)
委員長	池田 規容子様	(梅 林)
委員長	大倉 義郎 様	(小 田)
委員長	城戸 美穂子様	(石 貫)
委員長	高木 洋 様	(月 瀬)
委員長	寄元 廣澄 様	(玉 名)
委員長	藤井 正子 様	(三ツ川)
委員長	石井 秀明 様	(石 貫)



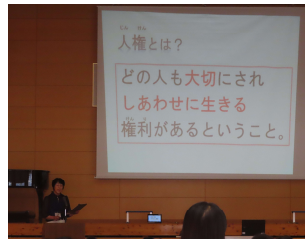
小学校の運営委員会からは、今年度の取り組み紹介と今後地域の方々と取り組みたい内容の紹介。中学校の生徒会からは、リーダー研修を通して、生徒の力で学校改革を進める気運の高まりとその取り組みの紹介がありました。小学生は、中学生の発表内容を聞き、「中学生は凄い」と思うとともに、自分たちも自分たちでやっていきたいという思いが高まったようです。主体的な児童の育成につなげていくきっかけになりました。その他、小中一貫教育の取り組みとして、中学校の音楽の先生、福永先生による歌唱指導の授業を実施していただきました。専門的な指導に子どもたちも真剣にそして、楽しく学ぶことができました。今後も継続します。



## 6月は「心のきずなを深める月間」

玉陵小には、悲しいいじめや差別をふきとばして楽しい学校生活をおくるために、子どもたちが考えた人権宣言「なかよし宣言」があります。令和3年6月に作成されたもので、子どもたち、職員が大切にしているものです。

- あだ名でよばず、「さん」「くん」「ちゃん」をつけてよびます。
- 男女関係なくいっしょに、楽しく遊びます。
- あいての気持ちになって、されてうれしいことをします。
- 勇気を出して、言いたいことをはっきり伝えます。
- だれにでも大きな声で、先に明るいいあいさつや返事をします。



4日に全校集会を行いました。児童会からは、「なかよし宣言」について説明をしてもらいました。その後、地域で見守ってくださる「民生委員」の皆様を紹介し、地域にも相談できる方や見守る方がいることを知らせました。「心のきずなを深める月間」の取組として、以下のことを行います。

- ・いじめや仲間作りに関するアンケートを行い、これをもとに教育相談を行います。
  - ・学活や道徳の時間に学年・学級に応じて仲間作りや命について考える授業を行います。
  - ・家族で考える人権標語に取り組みます。
- みんなが楽しく元気に過ごすことができる玉陵小を目指していきます。

各ご家庭におかれましても、家族でのふれあいの機会を考えられて、子どもとの「心のきずな」を深める機会にしていだけたらと思います。

## 学校運営協議会「環境大臣表彰」

玉陵小中学校運営協議会が、環境大臣表彰「地域環境美化功績者表彰」を受賞しました。地域住民と連携して、駅や病院に花を提供し、花壇の世話、除草作業、周辺の清掃活動を行う「おもてなしフラワープロジェクト」等を14年間継続的に実施していることが高く評価されての受賞です。小中の児童生徒の活動を支えてもらっています。

